

資機材の開発・導入試験(高度衛生管理型市場推進実証事業)

1 事業の目的・概要

境港市場を高度衛生管理型市場としていくためには、現状の荷捌き方法(作業工程)の多くを見直す必要がある。このため、県(市場開設者)と荷受業者等が連携し、荷捌きに適合した資材の開発・導入試験を行う。

(1) 高度衛生管理型市場とは

- ・危害要因(生物的、化学的又は物理的)の分析・特定、それらを取り除くためのハード及びソフト対策
- ・定期的な調査、点検、記録の管理、これらの情報提供

(2) 荷捌き作業上懸念される危害要因(危害を低減するための対策)

- ・岸壁からの異物混入対策(専用ベルトコンベアの導入、トラックのブルーシート掛け)
- ・容器等からの汚染対策(プラスチック魚箱(CB)の導入、ステンレス製の選別台の検討)
- ・活魚の水質管理対策(専用活魚水槽の導入)
- ・長靴・床からの汚染対策(松葉がに・マグロの専用敷台の検討) など

2 事業内容

(1) 荷捌き資材の試作品開発・導入試験

事業の内容	境市場の荷捌きに適合した資材を導入するため、試作品開発をコンサル・鉄工所など外部に委託すると共に、既存品を購入し、実用的に改良を行う。
事業実施主体	県(市場開設者)
事業費	2,288千円(平成27年度)

(2) 資材開発・作業工程検討調査費補助

事業の内容	高度衛生管理を実践している市場の作業工程や使用資材調査費の補助
事業実施主体	荷受業者等(窓口:境港水産振興協会)
補助対象経費	調査に要する旅費の補助
補助率	県1/2
事業費	1,200千円(補助額600千円)(平成27年度)

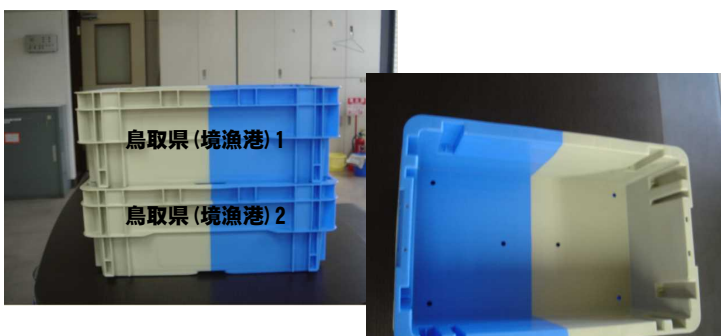
(3) 事業実施期間 平成27年度～平成30年度(4年間)

3 年次計画

	内容
平成27年度	①選別台試作 ②プラスチック魚箱(CB) ③松葉がに用敷台 及び改良試験
平成28年度	④移動式活魚水槽 ⑤沖底用ベルコン試作 及び改良試験
平成29年度	⑥マグロ用敷台 ⑦かにかご用ベルコン ⑧荷捌用プラスチックパレット 及び改良試験
平成30年度	改良試験

【本年度の検討状況(9月時点)】

①CBの沖底船導入試験の実施(10月～)



②ステンレス製選別台の試作

